

# 英語 関西学院大学 全学部日程 (2 / 1 実施) 1 / 2

## <全体分析>

試験時間 90分

### 解答形式

全問マーク式

### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

### 出題の特徴や昨年との変更点

読解総合問題3題, 文法・語法問題, 整序英作文問題, 会話問題と総合的な英語力を問う出題となっている。読解総合問題では, 空所補充問題, パラフレーズ問題, 内容一致問題, 英問英答選択問題が出題されている。概ね昨年の問題形式が踏襲されていた。

### その他トピックス

特になし。

## <大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[I]	読解総合 (762語)	「貨幣とは」	Aの空所補充問題は標準レベルの語いおよび文法・語法力と文脈を把握する力が問われている。Bのパラフレーズ問題も語い力と文脈把握力の両方が必要。また, 代名詞が指す内容を明確にする力が必要な設問もある。Cの文単位のパラフレーズ問題でも同様に文脈を把握できているかどうか正解への鍵となる。Dの内容一致問題では, 選択肢の英文を正確に解釈する力も必要。	標準
[II]	読解総合 (347語)	「ジャーナリズムの使命について」	Aのパラフレーズ問題は標準レベルの語い力と文法・語法力があれば正解を選べるが, 多義語にも注意したい。Bのパラフレーズ問題では, [I]のBと同様に語い力や文脈把握力などが問われている。Cの英問英答式内容一致問題は, 問いの英文の意図を十分理解してから選択肢を吟味すること。	標準
[III]	読解総合 (408語)	「若者の睡眠パターンの変化について」	Aの空所補充問題は標準レベルの語いおよび文法・語法力と文脈を把握する力が問われている。Bの内容一致問題では, 紛らわしい選択肢はないが文全体を正確に読む力が求められる。	標準
[IV]	文法・語法	短文空所補充	標準的な文法・語法・熟語・構文の知識が問われている。	標準
[V]	英作文	整序英作文	標準的な文法・語法・熟語・構文の知識が問われている。	標準
[VI]	その他 (211語)	会話問題	対話の文脈把握力に加えて, 会話表現の知識と文法・語法力が問われている。	標準

注: 区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で, 当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

読解総合問題では、まず語い力の増強に努めたい。語い力が身についたら、ある程度の速さで正確に読む練習を積んでおきたい。そのためには文と文の論理関係に注意して読む習慣を身につけてほしい。またほぼ全ての設問で文脈把握力が求められる。これは「読み手」として「筆者」が伝えたいことを理解する力であり、新課程で重視される「コミュニケーション」力のひとつであるとも言えるだろう。文法・語法の知識も不可欠である。どの文法単元も、品詞や成り立ちを意識しつつ正しく理解した上で、覚えるべきものは覚えるという姿勢で取り組むこと。整序英作文の対策としては、文法の学習の際に重要例文を暗唱していくのがよい。会話問題は、読解総合問題と同様、文脈把握力と文法・語法の知識を問う問題が中心とはいえ、最低限の頻出会話表現は覚えておこう。